

学校づくりアンケート（教職員向け）に寄せられた声の紹介

2022年12月 尾北教職員労働組合

※学校づくりアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。寄せてもらった主な声を紹介します。各課題についてさまざまな角度から考え合いたいと思います。

1【コロナ禍～3年目の状況と対応】 ※意見や要望

(マスク)	
1	● マスクは、いつまで着け続けるのか。表情を読めないなどコミュニケーションの学び損ねが心配です。
2	● マスクができない児童がおり、感染予防には限界がある。マスクを外せない、外したがる子が増えている気がする。
3	● 表情がすべて見えないためか、子ども同士のトラブルが多い気がする。しかし、マスクなしも心配ではある。
4	● 人の感じ方は、一人ひとり違います。一律に「マスクをはずしなさい。マスクをしなさい。」という指導ではなく、自分で考える絶好の教材と考えて、一緒に考えられたいと思います。
5	● 子どものマスクを外してあげたい。海外は、はずして、withコロナができている。酸素不足での免疫力の低下が心配。人の表情が見えないことでの弊害もあると感じる。黙食も元に戻してほしい。
6	● 子どもたちがマスクを外し笑顔で笑い、密に関わり合える学校にしたい。
7	● マスクを外している際の私語に対する指導。
8	● 体育で運動中でもマスクをつけたまま活動しているので、身体的に心配。無理に外させることが言えないため。
9	● 早くマスクのない生活にもどってほしいです。
10	● 低学年のアゴマスクをどの程度指導するのか。
11	● マスクが体の一部ようになってしまい、暑いときや、運動するときでも頑なに外さない児童がおり、心配です。
12	● マスクをしないとおちつかない子や口がこわいと思う子の増加が心配。酸素不足による脳などの発達の心配。
13	● マスクを外せる場面や状況の積極的なアナウンスと、教師が率先して範を示すこと。
14	● マスク自由化を進める親の子は学校で取っているが、学校のルールとして示していいことにしてもらえると指導しやすいのと思う。
15	● マスクを外せなくなってきている児童が多い。カメラ一つとっても外すのをためらう児童も多い。（特に高学年）
16	● マスクなしを不安に思う児童への指導や、コロナに対する考え方の違いをどうすり合わせるのか。
17	● 最近はマスクをかけて全ての活動ができるような気温になってきて、少しやりやすい。
(子どもへの影響)	
18	● 子ども同士がのびのびと関わり合い、学び合う姿がほとんど見られなくなった。
19	● 不登校傾向の子が不登校にならないか心配。
20	● 給食のあり方。会食できないことによる心の発達影響。
21	● 小1の子たちは、給食当番ができることがうれしいのです。放課にじゃれあって遊ぶのが楽しいのです。感染の心配より、子どもたちの大切な体験の機会を奪っていることに目を向けるべきです。
22	● 学校によっては給食の量の調節（増やす・減らす）が感染対策のために行っていない学校もあり、残食も多い。子どもに必要な量が行き届いているか心配。
23	● 感染や濃厚接触のために、子どもたちが欠席せざるをえない状況になることが残念。
(教師の負担)	
24	● 朝の体温計測忘れは毎日のようにあり、勤務時間前にも関わらず、その対応に追われている。

25	●	コロナ禍で増えた仕事はそのまま、行事等はコロナ禍前に戻りつつある。結果として仕事が増えている。
26	●	今まで時間をかけすぎていた行事などの持ち方について考えることができよ面もある。必要なものは残しつつ、カットできるものや、簡略にできるものは見直せるとよい。
27	●	オンラインの授業の準備と、授業の準備の両方は負担が大きい。
28	●	児童も教師も陽性者が出ていた時は、教員不足がしんどかった。
29	●	家庭連絡や週に何回かプリントなどを持っていくのが、夕方や夜など、家庭の都合に合わせなくてはならないのが大変です。
30	●	朝の検温があるために、朝の動きが制限される。
31	●	検温など未だにやる必要があるのかわからない。
32	●	毎朝検温の確認を担当がすることは負担となる。保護者が検温したうえで登校させているはずなので、担任（学校）の確認する必要はないと思う。
33	●	体温測定忘れや用紙忘れ、マスクの貸し出し業務が当番で回ってきたが、寒い日などは大変だったように思う。
34	●	毎朝、各学年の玄関に複数教員を配置して、検温の確認をしたり、消毒作業を行ったりすることに時間をとられる。
35	●	朝の宿題、連絡帳にプラスして、体温チェック。正直あのチェックで37.5℃こえてたら学校に来る子なんていないんだから、やる意味はあるのか。やっている感を出したいだけでは？
36	●	朝の検温チェックは一冊一冊ノートを見ないといけないため、手間がかかる。オンライン上でできなものだろうか。又、欠席は長期になるため、家庭の協力がないと補充がなかなか難しいのが現実。
37	●	欠席中に学習がどのようにすすんでいるのか連絡し、登校後遅れた学習を休み時間や給食前後の時間を利用して個別指導をしていること。
38	●	欠席連絡を連絡帳ではなく電話のみにしている。電話が多くなり、負担が大きい。きちんと電話をとれる体制を整えてからやるべきだった。もしくは欠席連絡アプリを早急に入れるべき。
39	●	コロナ禍になり、欠席連絡が連絡帳ではなく、電話連絡になった。そのため、朝の時間に電話対応に追われている。他の市町村では欠席連絡アプリなどを活用しているところがある。朝の時間を有効にするためにそういったものを導入してほしい。（直接のやりとりを大事にしたいという意見もあるみたいだが、教員のそもそも勤務時間外である時間に電話対応に追われるのはやめてほしい。）
40	●	「大変だと思いますが、よろしくお願いします。」の一言で、いろいろな対応が増えていく。対応する時間がほしい。
41	●	おかわりの配膳を担当がやるため食事の時間が減ってしまう。
42	●	コロナ感染による欠席が増えると、タブレットによる対応がとても負担になる。
(指導上の困難)		
43	●	小学1・2年生の授業で、接触を避けて指導することが念頭にあるため、言葉や身振りだけで表現する時に難しさを感じる。（ひらがな・漢字の止めや、はらい・身体の動かし方など）
44	●	音楽の歌、けんぱんハーモニカ、水泳指導、体育のマットやペアで行う運動等できない、又は工夫が必要。
45	●	オンライン授業が、教室で行われている授業の中継になっているが、正直オンラインで受けている側の児童は、ほとんど見ているだけになってしまっている。
46	●	欠席者への学習補充の時間がしっかりと確保できていません。家庭でできるよう資料等を作成しても、保護者の協力が得られる場合は使ってもらえますが、そうでない場合もあります。休みが長引いたとき、登校後だけでは補いきれません。
47	●	体育のときの接触到不安を感じる。
48	●	音楽の指導で鍵盤ハーモニカや歌唱をどれくらい指導したらよいか、教室内（音楽室ではない）の音楽指導に悩んでいる。（手指洗い・鍵盤ハーモニカの扱い方・吹き口の処理）
49	●	流行具合によって活動のやり方が変わるところが大変でした。

50	●	コロナに対して敏感になり過ぎて活動に制限が掛かること。
51	●	数日分の学習補充。
52	●	学習補充が時間的にかなり厳しい。
53	●	一人一人に異なった内容を考えなければいけない。
54	●	給食時の安全指導。
55	●	低学年のオンラインは難しい。
56	●	オンラインでの指導が難しい。
(その他)		
57	●	保護者の意識の違いで、大事をとって出席を控えて下さる家庭と、少々体調不良でも登校させてしまう家庭…。
58	●	コロナに対する、保護者の考えもバラバラで、指導やコロナ対応に対して、正反対の意見、連絡が入り、対応に苦慮する。
59	●	コロナが不安でほとんど学校に来ていない児童がいたり、何かあるとすぐに休ませてしまう親がいたりして、この3年間は当たり前のことが当たり前にできていないように思う。
60	●	子どもたちは平気でコロナ体験をしゃべり合っている。もうそろそろ平常化が近いと思う。
61	●	外で遊ばないことが認められ、体力低下が進んでいるのを感じる。
62	●	交流学級の担当教師によって、特別支援学級の児童に対して排除的な対応に感じる時がある。そんなときは、胸が痛みます。学校や行政による規則や指導によって改善される部分なのだろうか。教師の人間性や価値観に頼らなければならないのだろうか。
63	●	複数の教員が欠席したときの対応に不安を感じる。
64	●	養教複数配置をお願いしたい。
65	●	学習の補充も含め、やるが増えているのに給料が上がらないのは不思議に思う。
66	●	消毒をやっていただけることは、本当にありがたく、SSSの取組がいつまでも続いて欲しい。
67	●	今はコロナ予算があり、消毒用品を購入できるが、この予算がなくなってしまうたら、購入が難しい。
68	●	そもそもワクチンがあやしい。
69	●	世界ではコロナさわぎは終わっている。マスクはじめ様々な感染対策は意味があるのか。コロナは「死の病」ではなく「風邪程度」の認識に変わってきている。学校が、世の中の同調圧力に従い波風を立てないように保身していることは、子どもたちの健全な発達の機会を奪っている。学校が、教師が、率先して、子どもを守るべく行動すべきだ。
70	●	感染対策が重要であるが、やり方を見直す時期にもきているのかと思う。

2【1人1台タブレット】 ※意見や要望	
1	● 持ち帰りは、ケースが大きいし、重さもあるので負担になる。家庭での使い方まで管理できない。
2	● タブレットは学校保管で学校だけで限定的に使う。新1年生に市が購入して渡して6年間使う。使い回しはしない。
3	● 学校での管理をしているが、家に持ち帰る方が良いのではないか。
4	● 低学年でのタブレットに使用について、担任一人では対応しきれない。Wi-Fiが突然切れてしまったり、繋がらないところがある。
5	● 突然動かなくなってしまうことも時々ある。
6	● 低学年は、具体的な操作などアナログ的な活動を大切にしたい。
7	● あくまでもツールとして使用することが大切で、使用することが目的になってはいけない。
8	● タブレットを使った授業が増えることで、知識や情報検索が主体となり、子どもたちが思考し、友達と意見を交わして関わり合うことが減るのではないか。
9	● タブレットのドリルは、選択を意味なく選んで、合っていたら喜んで終わりの子が多い。考えたり話し合っ て答えを見つけていく楽しさからはほど遠いのがさみしい。
10	● どの場面でどのように活用していくとよいか、手探りの状態です。教材作りには一から作成するものも多く、 時間がかかります。
11	● タブレットを使用することにより、実際に書く場面が減るため、集中力の低下が見られると思う。現に学力 調査のアンケートでスマホやゲームを使う子どもに学力の低下が見られるというデータがある。タブレット でも同じである。
12	● 紙に鉛筆で字を書くことの大切さを忘れてしまわないか心配。
13	● タブレットに夢中になっている姿を見ると（授業外で）人との関わる時間をもっと確保できないか。
14	● ルールを教えてもルールを守らない児童への指導は少し面倒。
15	● タブレットがあることで、欠席（長期）の場合はオンラインをやって当たり前という受けとめ方になってお り、それが複数人重なると、自宅に届けたり連絡したり、仕事は以前に比べ増える一方…。
16	● 使用中の姿勢の悪さ、視力への影響。
17	● 目の健康が特に気になる。
18	● リモート授業を求められた時の負担。
19	● 家へ持ち帰った際、保護者の方が操作したためか、本来の場所に必要なアプリが表示されていない等、授業 で子どもが上手く扱えなくなる場面があった。
20	● 毎日鍵付きの保管庫に入れる時間がかかる。
21	● 故障が多い。
22	● よく壊れています。
23	● こわれた時の費用負担。
24	● 特にタブレットの扱い方については、なかなか慣れることができない。
25	● タブレットなどの機器をうまく使いこなせず他のクラスと差が出ていることに不安・焦りを感じる。
26	● 安易に頼り、それで学習をすませる方向に行かないか危惧している。
27	● どういった場面で活用するのが有効なのかが不明瞭。
28	● タブレットを使うことが目的化している。使うことで、読解力が落ちているのではないか。
29	● 無理にでもタブレットを使わないといけないと思ってしまう。
30	● 活用の利便さは感じられるが、効果については疑問。机の上が繁雑 担当者によって使用にバラつきが出る 。
31	● 目の健康への不安。

32	● 教員も一人一台タブレットがないと使い方も分からず、オンライン授業の対応にも不便さを感じます。
33	● ネットモラルやタブレットの長所、短所をきちんと指導できる力が必要である。
34	● 生徒全員がお利口な使い方をするわけではない。むしろ逆。
35	● いろいろな活用の仕方があるので挑戦したいと思っているが、その都度、使い方を聞かないと分からない。
36	● 教員分がないから教えにくい
37	● 更新されると以前と少し違ってることがあり使い方がわからなくなる。年をとると新しいことが覚えにくくなってくるので、使うのをためらってしまう。
(その他)	
38	● 専門的な人員の配置を希望します。長けている人に仕事が集中しており申し訳ない。
39	● 教科書をタブレットに入れてほしい。机の上にタブレット、教科書、ノートと物が多すぎる。
40	● 教科書もデジタル教科書になっていくと聞いているが、やはり書き込んだりできる紙の教科書も必要だと感じる。
41	● 機器の使い方を知ることは大切だとは思いますが、それを使うために教育の方法が決められてしまうのはおかしい。
42	● 教育のデジタル化については、民間企業がどんどん参入し、効率優先の教育が進められることで、真に豊かな学びから遠ざけられ、教育格差が拡大する恐れがある。
43	● タブレットをどう活用するかが先にあるのではなく、目の前の子達にどういう力をつけたいのか、そのために何をどう使うのかという発想で考えたい。
44	● デジタル教科書（または教科書スキャン）を全学年タブレットに入れてほしい。
45	● プロジェクターやTVにつなぐコード不足で思うように使用できない。充電切れや児童が忘れた事による、全員指導ができない場面があること（ロイロノート等）。
46	● 上手く活用できれば、よりよい道具として活用できると思うが、「使うこと」が目的になっている授業もよく見る。あくまで手段。ここが分かっていない教員が多い。
47	● 自分自身やってみると、できるようになることも分かった。子どもたちの進歩はすごく速い。使いこなせるように時々、専門業者の支援がほしい。
48	● 教員の考え方で利用の頻度が変わる。また必要かどうかの検証が必要かと思う。
49	● タブレット学習が十分に機能するような教材開発が大切。タブレットに頼りすぎないこと。
50	● 「あるから使わなければならない」というのではなく、必要なときだけ使えばよい。
51	● 担任以外にも端末を割り当ててもらえると、授業などに活かしやすくなるのではと思います。
52	● 自分が学ぶ必要性を感じているが、好きではないのと、時間的余裕がないのとで後回しになり上達しない⇨使わない。
53	● ざっくりと使い方だけ教えて、あとは担当者任せでは、浸透しない。もう少し丁寧に使う場面やポイントを設定して提示していくべき。
54	● 常に身近に教えていただける専門的な方がいてほしいです。

3【新たな研修制度】 ※意見や要望	
1	● 押し付け的で形式的な研修が拡がり、真に教師が学び育つ機会が減っていくのではないか。
2	● させられる研修ではなく、自ら学びたいと思える研修がしたい。
3	● 管理的になって、自主的な研修から遠ざかることが心配。
4	● 私たち教員は、自分にとって必要な学びは言われなくてもしています。必要なのは、学びの自由さとそれをする時間の保障です。
5	● 形式的なものではなく、職員への声かけやコミュニケーションが大事だと思う。
6	● 研修履歴の作成が新たな負担になりそう。
7	● 履歴を残すために研修しなければならないということになりそうだと感じます。そのために深い学びにつながるか心配。
8	● 履歴データが管理され、自主性の尊重がされなくなるのであれば嫌です。
9	● 履歴データの管理・活用について、どんな内容なのか知りたいです。
10	● 公的研修を1回分、皆が同じものを書くようにすれば負担も減り形骸化できる。研修記録をもとに差別が行われないようにする必要がある。
11	● 多忙化解消から逆行し、又、どのようなプラスが教員にあるのかが全く見えてきません。研修がプラスになるようにしてほしい。
12	● どのようなメリットがあるのか疑問。校長の意に沿える人を作りたいのか。
13	● やや不安な面があります。
14	● どのようなものになるのかがわからないので、不安である。
15	● 多忙化解消と逆行している。
16	● 負担の増加にならない運用につきると思います。
17	● 多忙化解消と逆行している。自己研鑽に努めなければいけないのは分かるが、これでは教員の多忙化は解消されない。
18	● 免許更新制を廃止した意味がないので、新たな研修制度もなくしてほしい。結局多忙化が解消されていないと思う。
19	● 逆に残業時間が長くなると思いました。
20	● 事務的な作業が増えるようであれば負担を感じ、多忙化解消につながらない。
21	● 無理がないような内容で、分かりやすく提示してほしい。
22	● 具体的な見通しがないので何とも言えないが、負担になるようなことはやめてほしい。
23	● 少なくとも愛知県は5年研・10年研で十分。あれこれとり入れるのは無意味。
24	● 各校きちんと研修しているため、やらなくてもよい。
25	● 校長先生との面談が年3回はしたいです。
26	● 研修は自ら学びに行くものであって管理されるものではない。意味があるのか？校長の面談は来年度の人事にいかされた試しがない。意味が無いならストレスでしかない。
27	● 自分にとって必要な研修を自ら選んで好きに学べるのであるならば何をされようか言われようが関係はないと思う。
28	● 意味のない、力のつかない研修を廃止するのはよい。文科省は、研修費を出して、教員に自ら選択させるべきだ。履歴の管理はよいが、簡素なものにしてほしい。
29	● 研修履歴を記録して、何にどう活用されるのか等、意味のある制度ならよいが、時間と手間の無駄遣いにならないことを願います。
30	● 研修は意味がない。管理職が職員の授業の様子や児童への指導の様子をよく観察して、適宜コミュニケーションをとりつつ、職務を果たしていない教諭の給料を下げたらい。

(現状の研修について)	
31	● 現職教育をもっと学びのあるものにしたい。一人一授業が全然活かされていない。
32	● 定期的に現職教育が行われるのは、とてもありがたい。個人での教材研究は、指導書を見たり、同学年の先生に教えていただきながら行えています。個人での教材研究が充実できるような資料などがあるといいなあとと思っています。
33	● うちの現職教育は管理職の要望による内容の要素が強い。毎年、今年は何がやりたいか話し合いながら作っていく現職教育でありたい。
34	● 自由に学ばせてほしい。行きたい研究授業があっても、授業や会議の関係で、だめなことが多い。
35	● 自分が必要だと思う研修が受けられるように支援がほしい。また費用の負担の補助があるとよい。
36	● 大規模な研修（初任・5年・10年研修など）は原則リモートにしてほしい。リスクが高く非効率。
37	● 研修の前に、教師としての生活のゆとりを！！。疲弊した状態で、自主的な研修はできない。
38	● いろいろな授業を見る機会がもっと増えるといいかと。
39	● 意味のない研修に行かされるのはやめてほしい
40	● 他校での発表会等の自由な参加がとても少ないと思います。
41	● 時代の変化や、若い教師や講師の増加など、今の学校は大変だと思う。時間を有効に使って、実になる研修ができるとよい。
42	● 職場の現職教育の研究に前向きな人が少なく、やりづらさを感じる。
43	● 職場で学ぶ機会があるのはありがたい。
44	● 本校のように1年に1回の研究授業は必要だと思います。
45	● 「現職教育」という言い方ではなく、「校内研修」と言い換えませんか。参加者は全て対等に学びあっていると意識したいです。
46	● 教育に関する研修だけでなく、民間の企業等で研修したり、自分がやってみたいと思うことに挑戦できる環境をつくってほしい。教員が世間知らずとよく言われてしまう所以は外のことを知らないからだと思う。外のことを知る機会を与えてほしい。
47	● 実践的な研修が必要だと思う。授業以外にも、電話の対応の研修も必要だと思う。
48	● 自主的に行っているなので、強制されてやるものではないと思う。
49	● 私は、自分が興味あることを、自分なりに研修し、成果を感じている。
50	● 自分が学びたいこと、必要であると感じることを学んでいきたい。
51	● 出張として研修に行くのならいいが、それ以外に研修に行く時間はなかなか取れない。
52	● オンライン研修は、負担が少なくありがたいです。
53	● 日々の負担が減らなければ、自身の力量を高める余裕はないような気がする。
54	● 研修のための財源が確保されているとは思えない。
55	● 児童にとって必要だと感じれば自主的に研修をする。そのように職員を育てていく学校行政が必要。制度も指導する側の人間力も大事。教員採用試験で学力による賢さよりも願いや思いなど情熱と地頭の良さをもつ人材を選定できると良いと思う。難しいことかもしれないが、考えていただきたい。

4【時間外勤務の割り振り・勤務時間・休憩・年休など】 ※意見や要望	
(時間外勤務の割り振り)	
1	● 本校では年々取りやすくなる傾向にあると感じています。
2	● 割振変更簿があることで、勤務時間や休憩時間について意識することにつながってよい。
3	● 割り振りを言い出しにくい、非常に！！。校長はそれを汲み取っているとは思えない。
4	● 今まで働いていた地区では割り振りがあった平日に取ることができていた。今の職場では、公にそれを伝えてないし、勤務時間外にプール清掃、職員会議、挨拶運動があっても割振変更簿に記録されているかどうか定かではなく、取れたこともない。夏休みにもとらせてくれなかった。タダ働きさせられている気持ちになる。
5	● 修学旅行や自然教室等の学校行事の割り振りはあるが、日常の中で起こる時間外勤務について（打ち合わせや職員会議の延長、朝早くのライン引きなど）は割り振りが無いのが現状である。
6	● 割振変更簿はないが、その都度、校長から割り振りを取るように説明があるので、比較的割り振りがとりやすい環境にある。
7	● 同じ内容の仕事（朝の検温など）をしても、市内の学校によって割り振り時間の扱いが違うのはおかしい。
8	● 校長裁量ではなく、全学校が同じように割り振りが取れるように整備してほしい。
9	● 管理職が言い忘れていることもある。
10	● 割り振りの指示があるものと、ないものがある。会議の延長に関しては一切割り振り指示はない。
11	● 個人任せで、適切にすべての割り振りの時間数が計上できているとは思えない。
12	● あまり気にしていないので、説明されているかもしれないが分からない。
(休憩時間)	
13	● 昼の休憩は全く取れない。（現実問題として無理）
14	● 休憩時間はまずもってとれない。勤務時間より前に、朝会の時間設定がされている。会議がある日も6時間授業で、勤務時間後に終了することがよくある。
15	● 校内に大切な子ども達がいる間に、見守る教員が休憩時間もとることはまず不可能であるため、休憩時間が中途半端な16時以降の時間になってしまっているが、それなら休憩時間をなくし、定時を繰り上げて早く帰れるようにしてほしいと、個人的には思います。
16	● 休憩時間がとれない
17	● 休憩時間は取れないといっても過言ではありません
(年休・休暇)	
18	● 年休は長期休業時を中心にしっかり取れている。
19	● 年休がもっととりやすい職場環境になってほしい。どうしても周りの負担を気にしてしまう。
20	● 教職員の数が少なすぎて、年休がとりづらい。
21	● 看護休暇は、子どもの人数によってプラスαしていただけると助かります。
22	● 平日になかなか取ることができない。（自分の仕事を他の先生にさせていただかないといけなくなるので）
23	● 休みがとりにくくはないが、人員不足のため、自分が休むことで他の人に迷惑がかかると思い、休みを取りづらい。
24	● 制度として休暇はあるが、子どもが目の前にいる以上、心理的に休みづらい。でも、ここを変えていかないと、何も変わっていかないのだと思う。小学校での教科担任制を進めるなど「チームで見る」を強めたい。
(在校時間記録・その他)	
25	● 時間外在校時間が正確に記録されていないのは問題だと思う。

26	● 残業時間月45時間厳守が厳しい。早く退勤する風潮は、ありがたいけれど。
27	● 勤務時間前に子どもが登校してくる事自体がおかしい。登校を遅らせるか勤務時間を調整し、その分さらに時間外になりそうな仕事量の見直しを県統一で行ってほしい。
28	● 管理職は「意識の問題」ということを言うが、意識を変えるだけで、月100時間以上の残業が45時間に収まるのか。いろいろな無理が重なって先生たちを苦しめていると思う。
29	● 教員に時間を守るという意識が低いので、何をいっても無駄だと感じる。
30	● 児童の登校時刻より勤務時刻が後というのは無理があるのではないかと思う。

5【教職員の健康問題と多忙化解消】 ※意見や要望

1	● 児童数36人がとてもきつい。発達障害をもった子ども多いが、ほぼ担任一人に任されている。校内で児童数の差が大きい、それによる配慮は一切ないこともストレス。
2	● 発表会の準備に時間がかかる。
3	● 成績処理が学校でしかできないのに、早く帰らなければならない現状に不安、ストレスを感じる。授業準備や教材研究を自宅で行っている。体力、精神的疲労が溜まっている。
4	● 校務主任をしながら4月当初から担任をもっている人がいます。非常に大変だと聞きました。なんとかしてあげてほしいです。
5	● 子どもの指導について、いろいろな考え方があり、日々接しているが、どんな思いでそう指導しているか等、先生どうして話し合う時間がない。
6	● 仕事を普通にやっていると普通に時間外労働になってしまうのは、やはりおかしい。仕事量が明らかに多いんだと思う。
7	● 学校訪問は行政訪問になったはずなのに指導案を強制された。授業を見ての指導はないので必要ないのではないかと。現職教育の一環だというのが、書くだけでは力はつかない。やめてほしい。
8	● 仕事と育児の両立が大変。自分の子どもと過ごす時間をもっと取りたい。
9	● 特別支援学級の児童は、(2~3名在籍だと丁寧に児童しやすいが、)今年度の現状は、5つの学年の児童が6名在籍していて、教科担任制になり、今年度は時間割を配慮して組みにくく、大変な状態が続いている。
10	● 持ち時間の差もすごくある。高学年に教科担任制が入り、持ち時間がすごく減っている分、低学年にしわ寄せがきている。
11	● 特になのですが、学級担任が何の連絡もなく時間割変更してしまうことが気になる。一言が伝えられない教師が多い。
12	● 時間、提出物など、期限を守る意識が職場全体で低く、自分の時間を奪われるとイライラする。
13	● 運動会を担当している人は負担が大きいと感じる。「チーム学校」と聞くがチームならもっと仕事を割り振って欲しい。
14	● 学年の配置をうまくしてほしい。年下の学年主任に年上のベテランをつけられるとやりにくい。もちろん協力的ならいいが、非協力的な人と分かっているが組まれても負担でしかない。
15	● 経験が少ないのか、年齢だけ重ねている人が多い気がする。30歳も後半なのに経験していない学年があるとかよくある。若手を育てようという雰囲気がない。具体的には同じ学年を何回も受け持たせたり、みんなでアドバイスすることがなかったりとか。これから入ってくる貴重な若手が嫌になって辞めてしまわないか心配。
16	● 産休などの代わりの教師が見つからず、皺寄せが多くの教師にいく。
17	● 学級に支援を要する子どもがたくさんいます。一人一人にきめ細やかな指導をしていくには手が足りません。
18	● 「残業時間数」のことは気をつけるようよく言われるが、抜本的な多忙化解消策がうたれていない。
19	● 教員同士が雑談するゆとりがない。歓送迎会や忘年会もなくなった。
20	● いちいち学校に電話してくる保護者にストレス。基本的に学校に電話はしないというルール作り。
21	● 日常の指導、行事の同時進行などやるのが常にたくさんあり、仕事が雑になったり抜け落ちたりしているのを感じる。その結果、生徒や保護者の信頼を失っている。
22	● 丁寧な説明をしても分かってくれないことが多い。あやまらなくてもいい内容でもやはり「すみません…ありがとうございます」は必要です。
23	● コロナの中で制限がある中での学習発表会。事後アンケートで保護者から「つまらない」系の回答を見るとさらにやる気がなくなるし、次年度も憂鬱なまま前向きに取り組めない。
24	● 学校で指導すべき内容ではないことも求められる。家であったことは家で処理して欲しい。

25	● 職場の雰囲気早く退勤しようという雰囲気になっているからそこはよいのですが、仕事が減らないのに早く帰るのは無理だよなというストレスがあります。
26	● 指導計画、支援計画、年カリを一人ずつ作成すること。時間が足りない。
27	● 日々の業務量が多く、新たな教材の研究の時間がなかなかとれない。
28	● タブレットやICTを活用したいが、不慣れなため準備や理解に時間がかかる。提出物も紙とタブレットと両方あるものもあり、把握できない。
29	● 道徳・英語の教科化・GIGAスクール・教科担任制・教育DXなどつぎつぎに出てくる政府・文科省の悪策に現場が振り回されている。

(教職員が健康に働き続けられるために何が必要か)

30	● 一人の教師の仕事は、必要だからしているので安易になくせない。だったら、人を増やして一人の仕事量を減らせるように本気で考えてほしい。
31	● 子どもたち一人一人をよく見て、細かい声かけをしたり、個性や特技をのばしてあげたいが、32名に1教師では不十分でもどかしい。教員や講師の人数を増やし、少人数のクラスを実現させたい。
32	● 体調をくずした時に気にせず休めるような教員の増員が必要。
33	● まずは先生たちが楽しいと思える雰囲気や、余裕がもてる職場環境をつくってほしい。先生たちの気持ちの余裕で子どもたちへの接し方が変わってくると思う。何でもかんでも仕事を学校が引き受ける時代ではない。
34	● せめてもっと空き時間があれば、ゆとりをもって準備をしながら仕事ができる。
35	● 育休制度のおかげで、大変助かっています。このまま育短の取りやすい環境が増えていくとありがたいです。
36	● 正規職員の増員。
37	● 人員増
38	● よい人材の確保、人材不足の解消
39	● 少人数学級の実現。先生増やす。給特法を改正して残業代を支給する。早く帰りたい。
40	● 人員の増員。ライフワークバランスを保ちながら働けるような環境が必要です。
41	● 教職員の数と支援員さんの数を増やして欲しい。江南市は特に少なく、職場環境がひどいと感じる。支援員さんは大口町は1校4~5人で江南市は1校2人ぐらい??予算の違いか!!
42	● 先生を増やすこと、空き時間を増やすこと、教職員同士が気軽に相談できる雰囲気づくり。
43	● 話せる職員間があること。
44	● 横と縦の連係があるとありがたい。
45	● 教育確保、そのための環境や条件整備。
46	● 体調や心理面で少しおかしいかなと思った時に、すぐに休める体制と周りが気づいてあげられる雰囲気作りかな。
47	● 一人ひとりのやれる自信。
48	● 高学年で教科担任制をもっと取り入れる。教示の精選・簡略化。
49	● 業務や行事の精選、見直し。
50	● 教員個人が、利己的で幼稚な考えをやめ、自分の仕事をしっかりする。モンペは弁護士対応とし、費用は教委が負担すること。
51	● 保護者対応が精神的に辛いです。
52	● 学習指導に専念できるようにしてほしい。登下校、帰宅後、公園でのトラブル対応、保護者対応などは、それ専門の人を雇ってほしい。
53	● 行事の縮小、削減。

54	●	勤務時間内に終わる仕事の量になってほしい。家族との時間も大切にしたい。
55	●	プライベートを充実させられるように、残業時間の減少や、休日出勤の見直し等。
56	●	毎日、定時に退勤すること。
57	●	人間ドックの補助額を増やす。共済。
58	●	休憩時間の確保。
59	●	平日でも休みが取りやすい制度をつかってほしい。
60	●	気楽に休みを取ることができない。人が足りない。
61	●	業務時間におわれるように工夫すること。

6【その他】 ※意見や要望	
1	● どんな変革が導入されても、日本の（愛知県の）教師は、いつもみごとに対応していつている。その努力を認めてあげてほしいな。
2	● 道徳は授業でやる必要はないように思う。日常生活で覚えるべきことであって、いちいち授業にすることではない。
3	● 道徳の時間は、とても大切だと思うが、評定をつけない「特別の教科」にした意味がよく理解できない。
4	● バス下校は教員の負担にしかならないので廃止、もしくはバスの乗務員の外部委託にしてほしい。下校後約1時間拘束され、自分の仕事ができないのは苦しい。要請訪問も簡素化もしくは廃止。やることが目的になってる。有効性が感じられない研究授業（現職も含む）はやめにして欲しい。
5	● 小学校も教科担任制の方が力もつくし、たくさんの先生がかかわった方がいいと思います。
6	● 小学校高学年での教科担任制はもっとすすめていくべきと思う。
7	● 5・6年の教科担任制はまだ分かるが、低中で今後導入するのは絶対にやめてほしい。
8	● アルコールのチェックは必要なのか・・・。
9	● 中学で不登校が増える。その子供たちの対応が大変うすい。
10	● 特別支援教育に対する考え方（文科省と国連で意見が異なる）人員等の整備が難しいからって、今までの流れをひっくり返すのはやめてほしい。
11	● 物価上昇の折、我々非常勤講師の時給は2年で120円も下がっている。何とかならないか。